

第2回小平市立学校給食共同調理場運営委員会 会議要録

日 時 令和3年11月26日(金) 15:30～16:20

場 所 小平市役所 505会議室

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議 題

(1) 協議事項 なし

(2) 報告事項

① 代替給食(弁当給食)の状況について…パワーポイントで概要説明

(質疑応答)

・献立は誰が決めているのか。生徒の意見は聞いているのか。

≫栄養士3名が月ごとに交代で献立作成している。給食委員さんとの交換ノートにより献立や味つけ等について意見を聞いている。

・毎月の給食だよりやセンターのホームページを見ているが、季節の野菜など適切な情報提供が保護者にされていると思う。

② 生徒アンケート及び残食調査の結果について

代替給食について、各中学校ひとつの学年にアンケートを実施した。

(白米)

固さや味については、好みにもよるが、まずまず満足してもらえている結果となった。

量については、多いと答えている生徒が多い結果となった。ただし、少ない又はやや少ないという生徒も約13%程度いる結果となった。

(おかず)

一概には言いにくいですが、濃い・薄いと同程度でちょうどよいと感じている生徒が多い結果になった。

量については、主食と同様に多い・やや多いと回答している生徒が多く、1・3年生が若干多いと答えている割合が高い傾向があった。

(牛乳)

学年別の傾向の違いが大きい結果となり、学年があがるにつれて飲んでいない生徒が多い結果となった。

本年度はお弁当形式での残食調査ということで、例年と計測の方法が異なる。今回は牛乳・主食・おかずの分類で、残食を計測した。

昨年度が8.6%、今年度が6.1%ということで、献立による違いはあるが、ほぼ同程度の喫食状況であると考えている。

おかずごとの残食状況は、職員が可能な限り目視で状況を確認している。

(質疑応答)

・残食がある程度出るのには仕方ないと思うが、給食時間は短くないのか。

≫喫食時間は15分程度。お弁当給食のメリットとして、配膳が早く行える。新センターの運用開始後も可能な限り喫食時間が確保できるよう工夫したい。

③ 新学校給食センターの建設工事について

11月で設計及び解体工事が完了したので、建設工事に着手する。

建設工事の完了は令和4年11月を予定しており、開業準備を経て、令和5年2月から新センターによる給食開始を予定している。

食材が一方のみ流れていくワンウェイ方式で、調理ミスや異物の混入などを防ぐことができる設計となっている。

2階には、炊飯ラインを設ける。2階の中央部分は吹き抜けになっていて、見学ホールから1階の煮炊き調理室を見学することができるようになっている。

基礎工事を今月下旬から開始し、鉄骨工事、外装工事、内装工事と続き、最後に植栽等の外構工事を行う。工事自体は令和4年10月末までを予定し、その後検査を経て全体工期を令和4年11月までとしている。

工事の作業時間は、午前8時30分から午後5時30分までとし、土曜、日曜、祝祭日は工事を行わない予定。

(質疑応答)

・株式会社小平市学校給食サービスが、新センターの建設から調理まで担うのか。調理する方は、この図面を事前に見ることができるということか。

≫その通り。

・食物アレルギー対応調理室というものがあるが、今は保護者とどの食材を除去するかという調整を行っている。今後はその対応が変わるのか。

≫今は各生徒が自己除去をしている。申請に応じ、卵、えび・かに、乳などのアレルギー物質を除去し、こちらでセットしたものを学校にお届けする形を想定している。

・アレルギー対応食の受け渡しをどのように行うか、十分に考えてもらいたい。

≫アレルギー対応食の提供は、新センター開始当初からではなく、1年程度の運用期間を経て、調理から配送までの体制がしっかり確立できてから開始する想定でいる。

④ 第1回運営委員会資料に関するご質問への回答・・・書面開催とした第1回運営委員会資料に関する事前質問に回答

・1食あたり300円の範囲内で収まるように献立作成と食材選定を行っている。

・調理場内の消毒作業については、事業者が月に2回行っており、学期に1回行っていた昨年度までよりも、頻繁に行っている。

・学校との連携に関して、季節の献立や食材についての情報をクイズ形式にした原稿をセンターで作成し、各校に配布している。多くの学校において昼休みに放送委員が読み上げてくれている。